

副官ヨリ第六師團留守參謀宛 電報

第六師團歸還ノ件ハ昨七日午後四時
當方ニテ発表セリ

内九四一

昭和八年九月八日

0849

陸軍省 第三三五三號 第一

電報譯

九月七日

午前八時

午後九時

五分五十分著

陸軍省 8.9.3 官

第三六號

陸軍省 8.9.3 新聞班

別官宛 發信者 六師團の司令官

六師團の級長の間ニ件ハ貴省ヨリ公表セラレシ
ヤ新聞の取締上必要アリ返

陸軍電信著信紙 0580

注意

受付當日受信セシモノハ月日ヲ記入セズ
 受付時刻ノ表示中「ロ」トアルハ午前ヲ「ト」トアルハ午後ヲ示ス

文	本	定指	局發	局
	シソヘノアアトオナシアミ (トエフノアアキシノ ノ アアカエヨケサキハアア キアクヨアア) コウヒヨウセラレシヤ) シツヨウアリヘン、六シダ ン(ルアス)	ララ 事記	官 七四 クマモト 四三一 二九時四六分	リクグ ンセウブツカン



陸軍會

1980

參謀
本
部
密
第
四
八
七
號
第
一

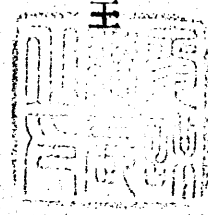
第六師團ノ歸還並北支那派遣諸部隊ノ第二次
交代ニ關スル命令傳宣濟ノ件

昭和八年九月七日

參謀總長 載 仁 親 王

陸軍大臣 荒 木 貞 殿

首題ノ件ニ關シ別紙命令ヲ關係官憲ニ傳宣濟ニ付通牒ス



三五



陸
軍

寫

極秘

臨參命第三十二號

命令

一左ノ部隊ヲ滿洲ヨリ歸還セシメ若北支那ニ派遣ス

歸還部隊

第六師團

派遣部隊

第一師團ノ歩兵二中隊

第四師團ノ歩兵一中隊及工兵小隊

第七師團ノ歩兵二中隊

第十二師團ノ山砲兵一中隊

二關東軍司令官ハ概ネ九月中旬ヨリ第六師團
ヲ其衛戍地ニ向ヒ歸還セシムヘシ

右師團ノ部隊ハ大連出發ノ時ヲ以テ關東軍
司令官ノ隸下ヲ脱スルモノトス

三第一第四第七及第十二師團長ハ夫々第一項
ノ部隊ヲシテ概ネ九月中旬ヨリ各其衛戍地ヲ
出發セシムヘシ

右諸部隊ハ北支那到着ノ時ヲ以テ支那駐屯軍

司令官ノ隸下ニ入ルモノトス

四支那駐屯軍司令官ハ前項諸部隊ノ北支那
 到着ニ伴ヒ其隸下部隊中昭和七年七月前項
 ノ各師團ヨリ派遣セラレタル諸部隊(歩兵大隊
 本部ヲ除ク)ヲ各其衛戍地ニ歸還セシムヘシ
 右諸部隊ハ北支那出發ノ時ヲ以テ支那駐屯軍司
 令官ノ隸下ヲ脱スルモノトス

五細項ニ關シテハ參謀總長ヲシテ指示セシム

昭和八年九月七日

奉勅 參謀總長 載仁親王

關東軍司令官

菱刈

隆殿

第一師團長

森

連殿

第四師團長 伯爵 寺內 壽一殿

第七師團長

杉原美代太郎殿

第十二師團長

大谷一男殿

支那駐屯軍司令官

中村孝太郎殿